



2019年11月14日

各位

会社名 株式会社 イオレ
代表者名 代表取締役社長 小川 誠
(コード：2334、東証マザーズ)
問合せ先 取締役 中井 陽子
(TEL. 03-4455-7092)

2020年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績の差異に関するお知らせ

2019年5月15日に公表しました2020年3月期第2四半期累計期間(2019年4月1日～2019年9月30日)の業績予想と本日公表の実績において差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期第2四半期(累計)業績予想との差異(2019年4月1日～2019年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (2019年5月15日発表)	百万円 1,017	百万円 13	百万円 13	百万円 10	円 銭 4.48
実績(B)	945	27	27	21	9.51
増減額(B-A)	△72	14	14	11	
増減率(%)	△7.1	101.4	104.0	112.4	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	814	△11	△12	△13	△5.80

2. 差異の理由

当社は、前期より「pinpoint及びその他運用型広告」のサービス拡大に注力しており、2020年3月期第2四半期累計期間におきましては、当該分野のシステムである「ジョブオレ」の連携メディアを増やす開発等を行い、当該分野の更なる拡大と推進を図ってまいりました。

特に当第2四半期累計期間におきましては、通年採用の活動の広がりとともに、第1四半期を中心に求人広告領域での運用型広告の引き合いが好調となり受注が拡大いたしました。一方で、求人広告市場の変化の中で、らくらくアルバイトの減少幅が想定より広がったことと、販促広告領域で、競争環境の激化から売上が伸び悩んだことにより、売上高全体では前回予想を下回る結果となりました。

利益面におきましては、比較的利益率の高い求人広告領域での売上拡大により、売上高の未達を補うこととなり、前回予想を上回る結果となりました。結果、売上高で945百万円(増減率△7.1%)、営業利益で27百万円(増減率101.4%)、経常利益で27百万円(増減率104.0%)、四半期純利益で21百万円(増減率112.4%)それぞれ前回発表予想に対し増減がありました。

なお、2020年3月期(2019年4月1日～2020年3月31日)の業績予想につきましては、2019年5月15日に公表したものから変更はありません。今後の動向を踏まえ、修正の必要性が生じた場合は、速やかに開示いたします。

以上